

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 1月 26日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0172902363 | | |
| 法人名 | 有限会社 スマイルプラン | | |
| 事業所名 | グループホーム プランタン永山 | | |
| 所在地 | 旭川市永山11条2丁目2-2 (電 話) 0166-24-5201 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年1月26日 | 評価確定日 | 平成21年3月27日 |

【情報提供票より】 (20年12月19日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|---------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成17年9月15日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 20 人 | 常勤 7人, 非常勤 13人, 常勤換算 8.0人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|------------|------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り | |
| | 1階建ての | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------|----------------|------------|
| 家賃(平均月額) | 10,000円 | その他の経費(月額) | 管理費 5,000円 |
| | | | 円 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,200 円 | |

(4) 利用者の概要 (12月 19日現在)

| | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 6名 | 女性 12名 |
| 要介護1 | 5名 | 要介護2 | 2名 |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 5名 |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 1名 |
| 年齢 | 平均 81.7歳 | 最低 68歳 | 最高 94歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------|
| 協力医療機関名 | 旭川ペインクリニック、東郷整形外科、林歯科 |
|---------|-----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは市内中心部に近い南永山地区にあります。農業や工業を中心とした地区でしたが、現在は住宅地・商業地区としても開発されてきています。ホームの近くはまだ昔の名残が色濃くあり、目の前の道路はショッピングセンターの往来に交通量が多くなっています。若い管理者を中心として、利用者本位の生活が送れる支援を行なっています。職員は利用者と家族の支援者であるとともに、脇役に徹する寄り添い介護の実践と利用者の思いや状況を見極められるように努めています。今年パークゴルフ場の造成も計画されており、心身両面の機能維持・向上が期待でき、自由な雰囲気の中で利用者・職員が明るく穏やかに生活されています。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題への取り組みは、管理者を始めとする職員の努力の成果が表れ、8項目の内、3項目の改善がされています。ほかの項目についてもハードの面でも難しい部分もありますが、引き続き取り組む姿勢が見られます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価では、職員全員が日常のサービスについて振り返りながら、カンファレンスや回覧を通じて取り組まれています。職員の率直な意見の表出や、ケアの共有化ができ、サービスの質の改善・向上につながるよう努められています。</p> |
| | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は、開催場所の確保により、3ヵ月毎に開催されています。利用者も加わり、活発な意見交換が行なわれ、サービスの向上に活かしています。しかし会議を構成するメンバーに地域関係者が少なく、家族と職員が大勢を占め、本来の会議の趣旨から十分とは言えません。この会議は地域の理解と支援をいただくための貴重な機会です。メンバーも内容に応じて臨機応変に募るなど、柔軟な対応で、ホームのパワーアップが図られていることを期待します。</p> |
| 重点項目② | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に意見箱は設置されていますが、家族とは気軽に話ができる関係作りが築かれており、家族からの意見・要望や苦情は、家族の来訪時の会話から伺うことが多く、貴重な意見をいただくことも多い。また苦情も真摯に受け止め、職員全体に周知し、早急にホームの運営や改善に取り組んでいます。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>もともとは工業地帯ということもあって、文教関係は少なく、アパートや工場が多いため、日常的な交流の関係は難しい地域ですが、地域の住民として町内会に加入し、地域に馴染める環境作りに努めています。近隣の住民との交流は、ホーム理念にも含まれ、職員は必要性を十分に認識しているものの今後の課題となっています。運営推進会議を通して、災害時の協力体制の依頼や日常の散歩からも、町内会、商店会など地域との付き合い、連携を深める取り組みを期待します。</p> |
| 重点項目④ | |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 前回の評価で取り組みの課題であった運営理念は、家族と職員で検討し、「地域に支えられその人らしい生活が送れる」が盛り込まれた新しい理念となり、運営推進会議でも紹介されています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 新しく作られた「理念」は、随所に掲げられ日々の業務の中で、職員全体で確認し合いながら、サービスの向上に向けた取り組みが、日々行なわれています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し、行事などの招待を行なっています。毎年保育園からの訪問があり、可愛い歌声や交流に利用者も心待ちにしています。しかし、地域性などもあり町内会自体が活性化されていないため、日常的な交流の関係には至ってません。 | ○ | 管理者は地域とのつきあいの重要性は熟知しており、発信もされています。今後運営推進会議にて、災害時に向けた協力体制の確保や地域ぐるみの消防訓練などを通して、更なる相互交流を期待します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の自己評価および外部評価を、職員一体となって回覧やミーティングを通して、改善点を話し合い、確認し、その改善に向けた具体案の検討を行ない、実践につなげています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタン永山

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 開催場所が確保され、積極的な意見交換が行なわれています。しかし会議を構成するメンバーに、日程調整の関係もあって地域関係者が少なく、本来の会議の趣旨から十分とは言えません。 | ○ | 運営推進会議開催の目的の一つでもある多様な地域資源の力を借りるとともに、ケアの実践の還元を行なうことで、支え・支えられる関係が構築されるため、様々な方々の参加をいただき、サービス向上に活かせるよう、会議の充実に今後も期待します。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域包括センター職員や市保護課ケースワーカーの定期的な訪問により、情報提供が行なわれ、適宜話し合いの機会があり、協働関係を継続しています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月送付される「ホーム便り・日和」はとても読みやすく家族に好評です。ホームの様子も細やかに伝えられています。金銭管理の報告書も利用者の生活状況と一緒に送られています。健康状態に変化がある場合は、電話による報告をしています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の面会も多く、意見や要望、また苦情は来訪時の会話の中から伺うことが多く、意見や要望などがあつた場合は、迅速に話し合いが持たれ、ケアに反映されています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者はできるだけ職員の異動を避けるように心がけていますが、系列グループ内やユニット間の異動の際には、職員間でチーム編成し、利用者への影響を最小限に抑えるよう努めています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 運営者はスキルアップの重要性を認識しており、研修案内の掲示や職員の能力・経験に応じた研修の参加を奨励しています。研修終了後もカンファレンスや回覧を通じて、職員全員が共有する体制の構築がされています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 北海道グループホーム協議会に加盟しており、道北ブロック研修会などで情報収集・意見交換が行なわれています。また系列グループ内での訪問、交流を通じて、サービスの向上に向けて協働体制をとっています。 | | |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居を前にしての面談では、必ずホーム見学をしていただき、利用者及び家族が納得して馴染みの暮らしが出来るかを見極めていただきます。ときには、ご家族に宿泊していただくなど、利用者が不安なく馴染めるよう雰囲気作りに配慮しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は理念である「声なき声に耳を傾け寄り添う」介護を実践しています。利用者の得意分野の発見やそれを発揮していただける場を作り、利用者本位の生活ができるよう支援しています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 家族からの情報収集とともに、利用者の何気ない言葉や動作から、思いや意向をできるだけ正確に把握するように努めています。把握した内容をカンファレンスで利用者本位に検討し、日々のケアに活かしています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | サービス担当者会議の結果を通して、職員が日々の気づきなども参考にして、ケアカンファレンスが行なわれています、課題・支援方針に共有化を図り、介護計画に反映させています。利用者と家族が満足できる計画作りをしています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の見直しについては定期的に行なわれており、心身状態の変化に合わせて計画書が作成されています。現在介護計画の遂行状況、効果などが職員がすぐ理解できるよう、記録方法の検討がされています。 | ○ | 利用者・家族の状況は刻々と変化しており、新鮮な目で利用者・家族の状況を確認すると共にケア関係者が最新の情報や気づき、介護計画の遂行状況が連動して記載できる記録の作成に期待します。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院への送迎は、家族の状況に合わせて、半額タクシーを利用して、管理者・看護師による同行介助を行なっています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の定期的な受診や協力医療機関の往診のほか、看護師の常駐による日常的な健康管理体制ができています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携体制の指定を受けていますが、重度化、終末期の対応指針・意思確認書は現在作成中です。 | ○ | ホームとしての基本方針は出来上がっていて、各機関との最終調整の段階です。早急に作成して、利用者・家族・医療機関・関係者全体の方針の共有化を図ることを期待します。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | ミーティングにて職員の意識向上を図り、日々の係わり方も、利用者との信頼関係の中で対応できるよう心がけています。記録の取り扱い、個人情報にも細心の注意を払っています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホーム内では、大まかな一日の流れが決められていますが、利用者の状況に合わせて、臨機応変に対応し、利用者本位の暮らしを優先しながら、ゆったりとした時間を過ごしていただいています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | テーブル拭き、食器洗いや後片付けなど、できる利用者には参加していただき、時には訪問の家族も交え、食事中は職員の誘導で、会話が弾む楽しい時間となっています。車椅子の方もほかの利用者と同じ椅子に座って、食事ができるよう支援が行なわれています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は週2回以上と定めていますが、ユニットの浴室が隣り合わせになっており、利用者の状況に合わせて随時対応できるようになっています。清拭、シャワー浴も併せて行なうなどの支援が続けられています。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の生活歴・技量・希望に合わせて場面作りを提供しています。特に食器洗いなどは、自分の役割と率先して行なっています。夏は菜園作り（草取り・水やり等）冬は除雪の手伝いなども自己の役割として張り合いや気晴らしになっています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常的な外出支援は地域性もあって少ないが、送迎付きのレストランなどを利用しての夕食や玄関前の駐車場を利用して憩いスペースを作り、気分転換や戸外の空気に触れるよう支援しています。現在、隣の空き地にパークゴルフ場の造成を計画しています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員全員は鍵をかけることの弊害を理解してはいますが、交通量の多い道路に面しているため、安全を優先して玄関の施錠をしており、毎日の開放には至ってはいません。利用者の思いや体力を考慮しながら、憩いスペースの利用なども含め、施錠時間が短くなるよう工夫、検討をしています。 | | |

旭川市 グループホーム プランタン永山

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練は利用者も加わって年に2回実施されています。連絡網も整備され、管理者は近くに住宅があり、すぐ駆け付けられようになっています。しかし地域の方々への働きかけは十分ではありません。 | ○ | 職員だけの誘導の限界をを認識し、地域密着型のサービスの枠組みを活かし、地域住民も一体となった協力体制を作り、あらゆる場面を想定した、避難訓練や救急救命の訓練などを通して万全の取り組みを期待します。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 職員の中に調理師免許の所持者がいて、食べやすく、好みに合わせた食事の提供がされています。食事量や水分摂取量は、一覧表にして常にチェックされて、利用者の状況を逐次把握し、適切な支援ができるようにしています。 | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 二つのユニットはキッチン・浴室を境として左右対称に作られており、明るく、開放的で、利用者が思い思いの場所で、ゆったりとくつろげる空間になっています。リビングはキッチンからの調理や片付けの音に五感が刺激される生活感が漂っており、居心地よく過ごせるよう配慮されています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の好みや馴染みのものを持ち込んでいただき、仏壇があったりと自宅との違いの不安を最小限に抑えるように配慮されています。あくまでも利用者本位で職員は側面から、その人らしく居心地よく過ごせるよう支援しています。 | | |

※ は、重点項目。